

科目名(副題)		開講年次	単位	担当者名
発達心理学			4	山本登志哉
授業概要				
人は人と一緒に生きていきます。人と一緒に生きるには、相手を理解し、協力し合う力が必要ですが、うまくいかない時にはその状態を工夫して乗り切る力も必要です。その力の基礎は進化の中で作られ、体の仕組みに遺伝として備わっています。さらに生まれた後、周りに働きかけ、また周りの人から働きかけられて人間の「心の仕組み」が育っていきます。また困難を乗り越える力は、みんなで手探りしながら作られています。そんなコミュニケーションの力の育ちを中心に、人の発達の過程を考えてみましょう。				
授業目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・生物としてのヒトはどのように社会性を持つ人になっていくのかを知る ・人はどのように他人と理解しあい、関係を調整しあっていくようになるのかを知る ・発達の道筋は一つではないことを知り、文化・歴史・障がい特性の違いと発達の関係を考える 				
授業方法				
毎回テーマを設定し、最初にそれについて説明した後、皆さんの経験や意見を聞きながら、理解を深めていきます。				
成績評価方法・基準				
出席 70%、授業への参加意欲 20%、発表 10%				
教科書・教材・参考文献 等				
パワーポイント提示。必要なものは授業前日までにデータで送付				
質問への対応				
歓迎します。				
授業経過(授業日程に若干の変更)				
項 目			内 容	
1	10/5	人が変化するという事	場面による変化、年齢による変化、時代による変化、文化による変化の例を考えてみる。	
2	10/12	変化の仕組み1:進化	人間の「発達」は動物の進化の中で準備されました。動物行動学などから進化について考えてみます。	
3	10/19	人の変化1:遺伝	進化は「遺伝」の仕組みで起こります。私たちの行動の土台にある遺伝的行動を見てみます。	
4	10/26	変化の仕組み2:学習	人の行動や心理は経験を通して変化します。経験が変化を生む学習の仕組みを説明します。	
5	11/2	人の変化2:経験	経験は人をどんなふうに変えるのでしょうか。学習によって変化する人間の行動や心理を考えてみます。	
6	11/9	変化の仕組み3:発達	人は経験さえ積み重ねれば変化するとは限りません。学習を成り立たせる仕組み自体の変化について説明します。	
7	11/16	人の変化3:発達段階	発達心理学で問題にされてきた発達段階のいくつかを考えてみます。	
8	11/30	身体の発達	特に子ども時代は人間の発達の基礎に身体運動の発達があります。その様子を見てみます。	
9	12/7	言葉の発達	人間の特徴は言葉を話すということです。人はどのように言葉を話せるようになるのかを説明します。	
10	12/14	社会性の発達	協力し合い、衝突・対立を調整しあって人は生きています。その基本的仕組みがどうできるのかを説明します。	
11	12/21	文化による発達の違い	発達はいつでもどこでも同じ道をたどるわけではありません。文化によってどう違うのかを見てみます。	
12	1/11	時代による発達の違い	時代によっても子育ての様子は違い、求められる発達の姿も変わっていきます。その変化を見てみます。	
13	1/18	障がい特性による発達の違い	発達の道筋は障がい特性によっても異なります。定型発達者の道筋とは少し違う道筋を見てみます。	
14	1/25	私の発達	自己意識を持つのも人間の特徴です。自己肯定感の有無は人の幸せに大きく関係します。その意味を考えます。	
15	2/1	変わるものと変わらないもの	人は常に変化しながら生きています。けれども同時に「同じ人」として生きています。発達の中で変わる自分、変わらない自分について考えてみます。	
履修者へのコメント				
発達心理学も時代によって発達しています。これからの発達心理学は一人一人の人が主観的に感じる「意味」の世界を深め、共有する仕組みを理解することが課題になるでしょう。受講者一人一人が自分のこれまでの発達の道筋を振り返ってみるきっかけになるといいと思います。				